

ボーリング柱状図

調査名 一般県道 粟谷大野線 大野アンダーパス 析出物等原因調査業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 4 1 0 0 1

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	機械室敷地内	北緯	34° 17' 19.0400"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成28年 1月27日～平成28年 1月28日
調査業者名	主任技師		現代理人	コ定者	ボーリング責任者
孔口標高	0.00m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総掘進長	11.00m	度	鉛直 0° 90°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	東邦D-1B48	ハンマー	落下用具	
	エンジン	ヤンマー-NFD-12	ポンプ	吉田SP-40B	

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内	掘進
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量				
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
1	-1.00	1.00	1.00	砂混り砂	暗褐			埋土 礫、細粒分を多く含む砂		2/2 1.62 1.96							1/27
2																	
3																	
4																	
5																	
6				砂混り砂	褐灰			粗砂およびφ10mmまでの小礫を主体とし、細粒分が少量混じる。 φ=40mm程度の礫が点在し、深度4~6m間は含有量やや多い。									
7																	
8																	
9																	
10																	
11	-11.00	10.00	11.00														1/28
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	